

行事のこころを形にして日本人のこころを見る



旧暦で楽しむ



年中行事と室礼

しつらい

四季に恵まれた日本は、季節の折り目、節目にお正月や雛祭り等々の行事を生み出し、今日まで千数百年と伝えられています。そこには自然を畏怖し、共生しようとするところと共に、神々や祖先に対する感謝と祈りのところが込められています。室礼は、その行事のこころを、道具や季節の恵みに託してしつらえ、もてなすことです。行事が生まれた旧暦の季節を体感し、背景を知り、底に流れる日本人のこころを皆さまと共に考えていけたらと思います。

□講座日時：18時30分～20時30分

平成 28 年

第1回 5月 2日 (月) 花の行事と「天道花作り」

第2回 7月 11日 (月) 夏越しの祓えの行事と「茅の輪作り」

第3回 9月 12日 (月) お月見の行事と「十五夜の室礼」

第4回 11月 7日 (月) 亥の子・十日夜の行事と「亥の子の室礼」

平成 29 年

第5回 1月 16日 (月) お正月迎いの行事と「餅花作り」

第6回 3月 6日 (月) 春迎いの行事と「和紙で作る椿」

□講師 師：室礼研究会ゆずり葉 高橋久子・ゆずり葉の会

□講座料金：裏面をご覧ください (税・材料費・お茶菓子込み)

□会場：日本文化興隆財団会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10 電話 03-5775-1145

□募集人数：各20人

□申込方法：裏面をご覧ください、インターネット及びファックスにてお申し込み下さい。
インターネットではクレジットカード、コンビニ支払いが可能です。ファックスでお申し込みいただいた方には、郵便払込用紙をお送りします。いずれもご入金確認後、本申し込みとなりますのでご了承ください。



JR総武・中央線・地下鉄大江戸線代々木駅西口より徒歩5分
地下鉄副都心線北参道駅1番出口より徒歩1分

旧暦で楽しむ年中行事と室礼

行事のこころを形にして日本人のこころを見る

平成28年
第1回 5月2日(月)
花の行事と「天道花作り」

春から初夏にかけては花見、花祭り、天道花、花折始め、花供養等々、花の行事が目白押しです。花は農耕や世の中の前兆を占い、神様の依代として神聖視されてきました。高く掲げる天道花は田の神様を迎える依代です。
実習：花々を束にして供える天道花をしつらえます

旧暦 4月 8日
新暦 5月 14日
講座料 4,500円

申込締切日 4月22日



持ち物：筆記用具、作業用敷物（新聞紙等）、持ち帰り用袋（以上は毎回）、花ばさみ

第2回 7月11日(月)
夏越しの祓えの行事と「茅の輪作り」

六月三十日は茅の輪をくぐって半年間の罪、穢れを祓い、年の後半を無事に過ごせるように祈る行事です。氷や甘酒、和菓子「水無月」を食べ、無病息災を願う、年末の大祓いと対になった行事です。

実習：茅の輪を作って季節の盛物を致します。

旧暦 6月 30日
新暦 8月 2日
講座料 4,000円

申込締切日 7月1日



持ち物：筆記用具、作業用敷物（新聞紙等）、持ち帰り用袋、ばさみ、糊

第3回 9月12日(月)
お月見の行事と「十五夜の室礼」

秋は月の美しい季節です。旧暦八月十五日の中秋の名月は、芋名月ともいい、秋の実りに感謝する日です。十三夜は栗名月・豆名月ともいい控えめな月を愛でる日本独自の月見です。両方見ることが良いとされます。

実習：三方にお月見団子を供え、うさぎの黄粉包みを作ります。

旧暦 8月 15日
新暦 9月 15日
講座料 4,500円

申込締切日 9月1日



持ち物：筆記用具、作業用敷物（新聞紙等）、持ち帰り用袋、お手拭き

第4回 11月7日(月)
亥の子・十日夜の行事と「亥の子の室礼」

旧暦十月十日に行われる収穫祭で、田の神様が山に帰られる日といわれます。西日本の「亥の子」に対して東日本では「十日夜」。亥の子石や藁鉄砲で地面を叩き来年の豊穡を祈ります。お茶の炉開きの日でもあります。

実習：藁鉄砲を作り、亥の子餅と共にしつらえます。

旧暦 10月 10日
新暦 11月 9日
講座料 4,000円

申込締切日 10月28日



持ち物：筆記用具、作業用敷物（新聞紙等）、持ち帰り用袋、花ばさみ

平成29年
第5回 1月16日(月)
お正月迎への行事と「餅花作り」

年神様を迎えて新年を祝うお正月。十二月始めの事始めから、大掃除、門松、餅つき、お節料理等々の準備が始まります。先人の知恵が詰まった準備の数々。ひとつひとつ紐解いていきたいと思えます。

実習：餅花作りを致します。

旧暦 12月
新暦 1月 10日～27日
講座料 4,000円

申込締切日 1月4日



持ち物：筆記用具、作業用敷物（新聞紙等）、持ち帰り用袋、お手拭き

第6回 3月6日(月)
春迎への行事と「和紙で作る椿」

修二会と言われる行事が旧暦の二月頃に行われています。罪を懺悔して、天下泰平、五穀豊穡を祈る行事です。この行事が終わると本格的な春が来たとして、春迎への行事とも言われています。

実習：紅白の和紙で椿を作りしつらえます。

旧暦 2月
新暦 2月 26日～
3月 27日
講座料 4,000円

申込締切日 2月23日



持ち物：筆記用具、作業用敷物（新聞紙等）、持ち帰り用袋、お手拭き、糊、はさみ

※写真は全てイメージです。室礼飾りの内容が変わる場合があります予めご了承ください。

インターネット又はファックスでお申し込み下さい。インターネットではクレジットカード、コンビニ支払いが選択できます。ファックスでお申し込みいただいた方には、郵便払込用紙をお送りしますので指定期日までにお支払いください。

FAX 03-3475-5805

ホームページでも受付中 <http://www.nihonbunka.or.jp>

郵便番号	住所	氏名
電話	FAX	メールアドレス
旧暦で楽しむ年中行事と室礼		希望講座を○でお囲みください。
第1回・第2回・第3回 第4回・第5回・第6回		を受講します

※受講票はご入金確認後にお送りしますので当日持参してください。